VOL. 105　2026年1月（令和8年）　（一社）全国消防機器販売業協会

ゼーファ・ニュース

〒104-0033　東京都中央区新川 1-16-7-204
TEL：03(5566)0821　FAX：03(5566)0823
URL：https：//www.zefa.or.jp

Ⅰ．新年のご挨拶

理事長
臼井　潔

令和８年の新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は協会運営にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は酷暑と頻繁に発生した線状降水帯による局地的大雨水害や山林火災等の災害の他に、企業を襲うサイバー災害とアーバンベアの出没等今までにない不安な事案が発生しています。新年の丙午の年は「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」と言われているそうです。当たり前の平和な生活が営める一年になるよう祈るばかりです。

昨年の協会活動では、5月の定時総会は役員改選期であり、3名の新理事が就任し新体制がスタートしました。また、優良事業所認定制度事業においては、更新及び新規申請会員と合わせて100社が優良事業所となりました。

11月には静岡市で「全消販合同会議・講演会」を開催し、全国から100名の会員が集い会員相互の交流を図りました。会員PRタイムでは6社が自社ソリューションを発表しました。新企画の特別講演では、静岡県地震防災センター長から「静岡県の地震・津波対策」、NPO法人日本防災環境専務理事から「企業防災について」ご講演をいただき、続いて消防庁予防課課長補佐のご講演で盛会裏に終わることができました。本年は、10月に札幌市で開催予定です。

全消販は、お蔭様で本年7月に設立40周年を迎えます。現在、正会員227社、賛助会員25社の大所帯となりました。平成6年に協会内で優良な点検業務実施者の発掘と資質の向上を図るため「優良事業所認定」を行い、適正な点検業務を通じて消防用設備等の維持管理の確保に励んでまいりました。

今後も消費者に最も近い立場から消防機器の設置、設備点検等において地域の「身近な暮らしの安心と安全」のために努力してまいりますので、消防関係団体各位の当協会会員への力強いご支援を心よりお願いする次第です。

結びに、会員各位の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

Ⅱ．新年名刺交換会・新年互礼会

新年名刺交換会、新年互例会が昨年同様に東京、大阪で開催されました。

1．2026年　新年名刺交換会（明治記念館　冨士の間）

2026年1月6日午後3時より、消防庁大沢長官、全国消防長会市川会長、日本消防検定協会市橋理事長、（一財）日本消設備安全センター西藤理事長その他多くのご来賓、各工業会役職者、会員等約640名の出席のもと開催されました。

2．2026年　新年互礼会（ホテルグランヴィア大阪　名庭の間）

2026年1月8日午後3時より、消防庁渡辺予防課長、大阪市消防局橋口局長、日本消防検定協会市橋理事長、（一財）日本消防設備安全センター西藤理事長、その他多くのご来賓、各工業会役職者、会員等約360名の出席のもと、開催されました。

Ⅲ．2025年　秋の表彰関係

1．褒章受章

2025年秋の黄綬褒章を以下の会員の方々が受章されました。誠におめでとうございます。

赤 尾　　隆　氏　　株式会社赤 尾　　代表取締役社長　　（東京都）
野 村　親 生　氏　　技 研株式会社　　代表取締役社長　　（岐阜県）

2．2025年度　消防設備関係功労者等表彰式

10月17日（金）午後3時30分より、明治記念館（東京都港区）にて、大沢 博消防庁長官、市橋 保彦日本消防検定協会理事長、西藤 公司（一財）日本消防設備安全センター理事長、板倉 秀樹（一社）全国消防機器協会会長、その他多くのご来賓隣席のもと、令和7年度消防設備関係功労者等表彰式が執り行われました。

（1）消防庁長官表彰

① 消防機器開発普及功労者表彰

全消販上申会員より、浦野氏、永田氏が受賞されました。誠におめでとうございます。

浦 野　静 夫　氏　　浦野工業株式会社　　代表取締役社長　　（東京都）
永 田　　豊　氏　　内外物産株式会社　　代表取締役社長　　（愛知県）

また、賛助会員の大幸氏が受賞されました。

大 幸　　斉　氏　　ヤマトプロテック（株）　代表取締役社長COO　　（埼玉県）

浦野 氏

大沢消防庁長官

永田 氏

消防機器開発普及功労者表彰受賞者

Ⅲ．2025年　秋の表彰関係

(1) 消防庁長官表彰

② 消防設備保守関係功労者表彰

全消販会員より以下の会員が受賞されました。誠におめでとうございます。

千 葉　信 男　氏　　株式会社大崎防災　　取締役会長　　（宮城県）
（一般社団宮城県消防設備協会 理事）

消防設備保守関係功労者表彰受賞者

(2) 一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰

全消販会員より以下の方々が受賞されました。誠におめでとうございます。

① 消防設備保守関係者表彰

湯 田　文 章　氏	株式会社ホシノ	代表取締役	（福島県）
宮 田　　薫　氏	株式会社アタイム東京支店	代表取締役社長	（東京都）
穴 山　敬 太　氏	株式会社四国消防	代表取締役	（愛媛県）

② 消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰

高坂防災株式会社	代表取締役	髙 坂　光 一　氏	（新潟県）
株式会社中日総合防災	代表取締役	梶 田　知 靖　氏	（岐阜県）
株式会社アタイム	代表取締役社長	宮 田　　薫　氏	（兵庫県）
株式会社消防防災	代表取締役	成 良　仁 志　氏	（福岡県）

③ 防災安全関係者表彰　＜個人の部＞

桒 地　浩 幸　氏　　（一社）北海道消防設備協会 副理事長　　（北海道）
（中央防災システム株式会社 代表取締役）

Ⅳ．全消販 2025年度 合同会議開催結果報告

2025年度の全消販合同会議が静岡市にて開催されました。以下に実施概況をお知らせします。

開催日時　2025年11月20日（木）14時～17時30分　場所：ホテルアソシア静岡

出席者数　正会員：79社（84名）　賛助会員：7社（14名）
講演会には、静岡市消防局、静岡県地震防災センター、（一社）静岡県消防設備協会から役職者4名のご参加をいただきました。

1．合同会議

（1）事業報告

① 事務局長の開会宣言後、臼井理事長の挨拶に続き開催県会員を代表してサンコー防災（株）鈴木社長からご挨拶をいただきました。

② 事務局長より、「2025年度事業報告」として以下の内容について説明が行われた。

- 総会・理事会・その他会議について
- 新入会員のご紹介
- 講演会開催（総会後）について
- 今後の主な行事予定について
- 表彰関連
- 消防設備等点検優良事業所認定について
- 広報及び庶務事項

（2）会員からの情報提供・ソリューションPR

以下の会員6社から各社のソリューションPRが行われた。

① アークリード（株）　代表取締役　尾阪　則将　様
― ヒーター式加熱試験器（EヒートⅡ）のご紹介

② 石田データサービス（株）　東日本営業所リーダー　西松　真輝　様
― 業務効率化パッケージソフトのご紹介

③ 日本負荷試験テクノ（株）　営業部次長　備瀬　元博　様
― 非常用発電機模擬負荷試験等について

④ 東北物産（株）　代表取締役　深澤　功　様
― 消防設備関連管理ソフトのご紹介

⑤ APOtech（株）　代表取締役　山下　直隆　様
― 非常用自家発電設備等について

⑥（株）ニチボウ　特殊装置部 顧問　佐藤　栄紀　様
― AVDファイアブランケットのご紹介

（3）特別講演 ①

特別講演としてご当地の静岡県地震防災センター所長 片岡 達也 様からご講演していただきました。

演 題：「静岡県の地震・津波対策」

内 容：・地震防災センターの紹介
・令和7年9月5日発生の竜巻災害の概要
・国の南海トラフ巨大地震の被害想定
・地震発生に関する豆知識
・静岡県の地震対策への取組
・これまでの地震・津波対策の実績：・主な取組
・県の災害本部体制、被災地支援

（4）特別講演 ②

賛助会員のNPO法人日本防災環境専務理事 杉原 英和 様から以下のご講演をしていただきました。

演 題：「企業防災について」 - 企業が防災を強化しなければいけない理由 -

内 容：・企業防災の必要性と対策する意味
・企業防災の4つの柱　　守るべき4つの柱：「ヒト、モノ、カネ、情報」
・企業防災の実態
・企業防災として何をしたら良いのか
1. 自社の防災力を点検する　　2. 課題・弱点を強化する
3. 業務継続体制を構築する　　4. 他地域・他業種との連携も検討する

2. 講 演 会

総務省消防庁予防課　違反処理対策官（併）課長補佐　奥 田　芳 範　様

「予防行政（課題と対応）～ 住宅防火対策について ～」と題して、以下の内容についてご講演いただきました。

① 火災の現況について
② 住宅防火対策について　～ 住宅用火災警報器の普及推進 ～
③ 感震ブレーカーの普及推進について
④ その他　～ 消防防災分野における退職自衛官の活用拡充 ～

合同会議会場

Ⅴ．消防庁からのメッセージ（1）

2024年（令和6年）における火災の状況（確定値）が、2025年11月25日に公表されました。以下に消防庁発表の報道資料を掲載します。
詳細は消防庁ホームページをご覧ください。（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/）

令和6年中の火災状況について、1月から12月までの確定値をとりまとめましたので、その概要を公表します。
前年と比較すると、総出火件数、火災による死者数ともに減少しています。

①総出火件数は37,141件、前年より1,531件の減少

総出火件数は、37,141件で、前年より1,531件（4.0%）減少しています。火災種別では、建物火災が2件減少、林野火災が468件減少、車両火災が25件増加、船舶火災が4件増加、航空機火災が2件増加、その他火災が1,092件減少しています。

②総死者数は1,451人、前年より52人の減少

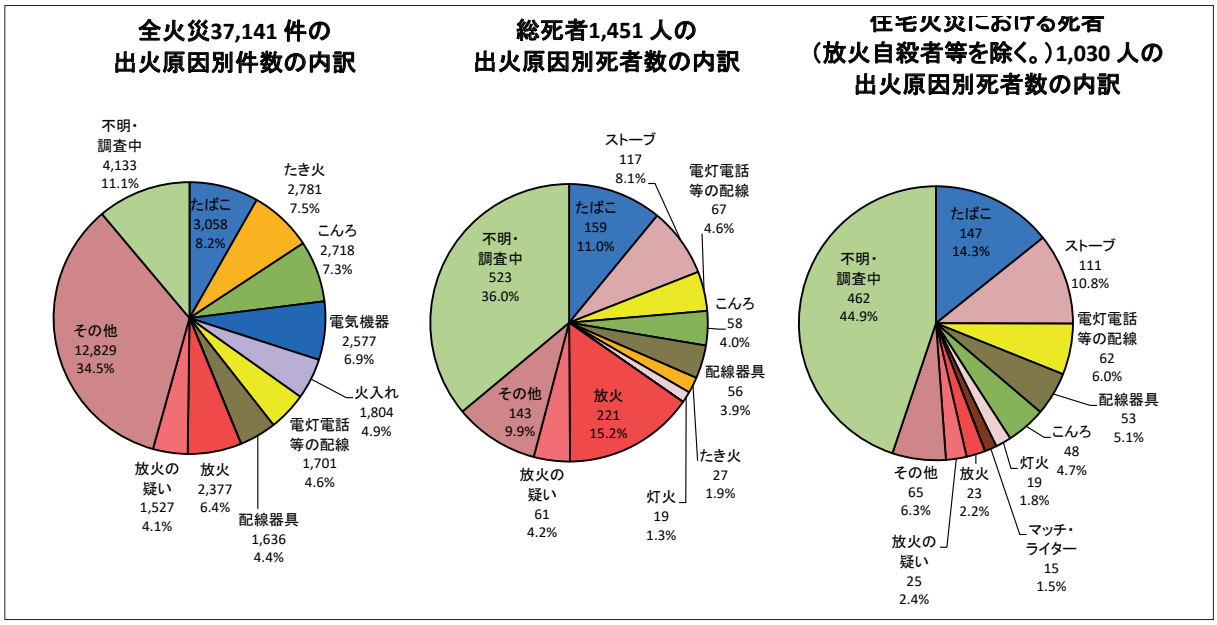
火災による総死者数は、1,451人で、前年より52人（3.5%）減少しています。負傷者数は、5,805人で、前年より39人（0.7%）増加しています。

③住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は1,030人、前年より7人の増加

住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数は1,030人で、前年より7人（0.7%）増加しています。このうち65歳以上の高齢者は779人で、前年より17人（2.2%）増加し、住宅火災による死者（放火自殺者等を除く。）数の75.6%を占めています。

④出火原因として最も多いのは「たばこ」、次いで「たき火」

総出火件数の37,141件の出火原因別の内訳は、件数の多い順に、「たばこ」3,058件（8.2%）、「たき火」2,781件（7.5%）、「こんろ」2,718件（7.3%）、「電気機器」2,577件（6.9%）、「放火」2,377件（6.4%）となっています。なお、「放火」については、「放火の疑い」を合わせると3,904件（10.5%）となっています。



2024年（令和6年）（1月～12月）における火災の状況（確定値）

Ⅴ．消防庁からのメッセージ（2）

林野火災予防のための新たな取組の開始が発表されました。　報道発表（令和7年12月17日）
気象庁は消防庁及び林野庁とともに、記録的な少雨時において火の取り扱いに対する注意喚起を行う新たな取組を開始します。以下に取組内容を掲載します。詳細は消防庁のホームページをご参照ください。

取 組 内 容

①「少雨に関する気象情報」を利用した林野火災への注意喚起　［運用期間：1月～5月］

気象庁ではこれまで林野火災を明示した情報を発表していませんでしたが、今後は、記録的な少雨時に発表する「少雨に関する気象情報」において新たに林野火災を明示して火の取り扱いに注意を呼びかけます。

②臨時の記者会見の開催　［運用期間：1月～5月］

少雨の地域に全国的な広がりがある場合には、気象庁は消防庁及び林野庁とともに合同記者会見を開き、気象状況等を解説するとともに林野火災への注意喚起を行う新たな取組を開始します。

③林野火災予防ポータルサイトの開設　［12月17日公表］

気象庁HPにおいて、乾燥注意報、強風注意報の発表状況や降水量等の各種気象情報を集約した林野火災予防のためのポータルサイトを新たに開設します。

URL　https://www.jma.go.jp/jma/kishou/rinya/rinyakasai.htmi

④SNS等による情報発信の強化　［随時］

記録的な少雨時や林野火災の多発時にX（旧Twitter）等を通じた注意喚起を行います。

Ⅵ．消火器リサイクル推進センターからのお知らせ

消火器リサイクル推進センターは、2025年9月に一般家庭における消火器の保有状況および設置状況に関するWEBアンケート調査を実施しました。

その結果、無作為抽出による2万4,239人の調査で、**住宅に消火器がある割合は46.1%**（一戸建て住宅**35.7%**、共同住宅**49.9%**）でした。

一方、住宅の管理者などが設置した消火器を除き、**住民自身が入手（購入等）した消火器がある住宅の割合は11.7%**（一戸建て**28.7%**、共同住宅**5.6%**）となりました。

自ら入手した消火器の製造年数を確認したところ、**製造から11年以上経過したものが全体の25%を占め、さらに3.3%は31年以上経過**（表参照）しています。

製造後の経過年数	割合
11～20年	15.3%
21～30年	6.4%
31年以上	3.3%

点検義務のない一般家庭では、消火器が放置され老朽化しやすい傾向が見られます。
使用期限が切れた消火器の早期回収に引き続きご協力をお願いいたします。

Ⅶ. 事務局からのお知らせ

1. 新入会員のご紹介

2025年には、以下の会員の方々が新規にご入会されました。

【正会員】

① APOtech(株)	代表取締役	山下　直隆　様	(大阪府吹田市)
② (株)オガワ防災	代表取締役	小川　真澄　様	(東京都西多摩郡)
③ 東北物産(株)	代表取締役	深澤　　功　様	(秋田県秋田市)
④ (株)ヨシテック	代表取締役	吉永　伸治　様	(大阪府大阪市)

2. 全消販　2026年 第40回 定時総会について

全消販定時総会は以下の日程で開催されます。詳細のご案内は後日差し上げます。
是非ご予定に入れていただき、多くの会員の皆様のご出席をお願いします。

開催日：2026年5月11日（月）　午後
会　場：「KKRホテル東京」（東京都千代田区大手町1－4－1）

3. 全消販　合同会議開催について

全消販合同会議の開催地が決まりました。詳細につきましては後日ご案内差し上げます。
多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：2026年10月8日（木）　午後
・合同会議、講演会、懇親会等
開催地：北海道札幌市
会　場：「ホテルモントレエーデルホフ札幌」
（札幌市中央区北2条西1丁目1番地）

4. 新年のご挨拶（事務局）

旧年中は大変お世話になりありがとうございました。
本年もご支援の程、宜しくお願い申し上げます。
昨年は、多発した林野火災や相次いで発生した大雨による災害等毎月のように大きなニュースに触れることが多かったような気がします。また、12月に初めて発出された後発地震注意情報等災害とどう向き合うか常に傾注していなければならないとつくづく実感します。
丙午の本年は、「情熱と推進力にあふれ、大きな飛躍や成長のチャンスをもたらす年。」と言われているそうです。会員の皆様のご活躍を祈念申し上げます。
本年もご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

編集責任者：理事長　臼井　　潔　　編　集：事務局長　岡田　　昇